

新型コロナウイルス感染防止のため、本誌掲載のイベント・講座などは、変更・中止する場合があります。

もくじ

えび人 vol.52	02	市民の広場	10
今号の表紙	03	きらめけ! えびなっ子	11
HUGHUG子育て	04	ホール・ギャラリー	12
新型コロナウイルス		相談	13
感染症関連情報	06	図書館	14

「広報えびな」の共通マークとルール

日日時・日にち 期期間 時時間 場場所 対対象 定定員  
 内内容 講講師 費費用 持持ち物 他その他 任任期  
 条条件 主主催 Eメール ホームページ 問問合わせ  
 申申し込み 予予約制 祝祝日を除く 休休み

 高齢者対象の教室など
  えびな健康マイレージ対象

市外局番…省略している場合はすべて「046」です  
 市〇〇〇課への郵送…「〇〇〇課へ」とあるものは「〒243-0492勝瀬  
 175-1海老名市〇〇〇課行」と記入してください  
 市役所開庁時間…省略している場合は原則「月～金8時30分～17時15分」

今号の表紙

題字と写真は市民の方の作品を掲載しています。ご協力ありがとうございました。

題字

えびな



書道のてんらん会で市長賞を取りたいです。  
海老名小学校 北村まどかさん(10歳)

写真

タイトル：快晴  
 撮影場所：県立相模三川公園  
 撮影者：下今泉在住  
 細谷靖子さん



編集雑記

若葉の緑が心地よい季節になりました。新年度になり、新しい環境で新鮮な気持ちで過ごしている方も多いのではないのでしょうか。中学生の夢のコーナーで、入学したばかりの1年生から最高学年となった3年生まで、どんな夢にであえるのか楽しみです。(M)



“好き”と“楽しい”のつながりで盆踊り復活へ

結婚を機に新潟県から海老名に移ったのは55年前。当時の大矢さんは消極的で内向的だったそう。「地域の人の関わりが多くなるにつれて、だんだんと人前でも話せるようになりました。同級生もいないし、自分から知り合いを作って楽しくやらないとね」

義母の誘いで入った地婦連をきっかけにさまざまな地域活動に参加。リーダー役も多く経験し、たくさんの人との交流を築きました。「頼まれごとをされるとつい引き受けちゃうんです」と満面の笑みで明るく話します。10年程前、地域の盆踊り大会復活の話が挙がったときも協力の依頼が舞い込み、これまでに築いたつながりが復活へと実を結びました。「地域や人のためになることが好きです。自分も楽しめるし、元気の源なの。できることは何でも挑戦してみたい」。好きなことに突き進み、好奇心旺盛な大矢さん。地域の頼れる存在として、チャレンジは続きます。



趣味の新日本舞踊でステージに立つことも

史跡相模国分寺跡を会場に復活した盆踊り大会

今月のえび人

おおよさちこ  
大矢佐知子さん  
(国分南在住・78歳)

海老名地域婦人団体連絡協議会(=地婦連)と海老名ゆめクラブ連合会の副会長。地婦連は40年、新日本舞踊は約30年。趣味を通して地域のボランティアを10年続ける。富士山が好き。